

大会参加レポート
2時間トライアル大会
2005年2月5日(土)

雪あそび！ 磐梯高原

木村佳司

スキーオリエンテーリングとクロスカントリースキーとのコラボレーション。スーパーフラットな磐梯高原はスキー0初心者から上級者まで大満足！

2005 スキーオリエンテーリング
磐梯高原 2h トライアルイベント
2005年2月5日(土)
福島県磐梯高原休暇村クロカンコース



スキー0研究会手製のマップホルダとコンパスで雪の迷宮を楽しむ参加者

雪の祭典

磐梯高原には湿原が広がっているが、冬はすっかり雪の下。ここに雪の平らな森が出現する。冬は常設のクロスカントリーコースがあり、常にベストコンディションに保たれている。ここで毎年2月始めの日曜日に市民向けクロスカントリー大会が行われている。「2時間トライアル」と呼ばれるその大会は毎回約300名を集めている。

昨年より、このクロスカントリー大会のコラボ企画として、スキーオリエンテーリング大会が始まった。この常設コースに使われるピステ(圧雪道)をベースに、スノーモービルを使って

網の目のようにネットワークを雪原に書き入れる。素敵なスキー0テレインの出現だ。

多くのクロスカントリースキーヤーが集う大会の前日イベントとして、多くのスキー愛好家にスキーオリエンテーリングの競技会を提供している。



スキー0では多くの男子を蹴散らした酒井佳子。クロカン大会でも女子総合トップに。今のスキー0はEMITのパンチフリーコントロールを使用している。スキー0にとって大きな技術革新となった。

悔しさがバネに

スキーヤーにとっての入門コースとなる「チャレンジコース」はクロスカントリーコースのピステ道を多用したセッティング。スキー技術がある者がやはり上位にくる。

昨年、この「チャレンジコース」で上位を占めた足に覚えのあるスキーヤーも2年目となる今年は本格的な「経験者コース」に挑戦した。注目の挑戦だった。さて・・・

やはりスキー0とクロカンスキーの技術は違う。とても上位には入れない。これは単純なナビゲーションの差だけではない。悔しさをバネにスキー0にどんどん挑戦して欲しいものだ。

ワイルドなスキー0の技術

スキー0ではジツに幅広いスキー技術を要求する。ピステ(圧雪道)を快適に滑走できることはもちろん、狭いモービルトラックを突き進む片足スケ

ーティングや、ダブルポールのみによる推進滑走が巡航速度を決める。直進が有利と思えば新雪たっぷりの雪原を一気にぶちぎる突破力も必要だ。

雪の状態も一様ではない。硬い雪もあればポールを刺しても沈むほどのフカフカの雪だってある。

さらにマテリアルも選ぶ。スキーにワクシングが重要なのは皆が知るところ。それ以外にもテレインに応じたスキー板の選択、スキーポール先端につけるのバスケットの広さ、雪目を防ぐサングラスにするのか、視界クリアなクリアグラスを選ぶのか・・・

テレイン、コース、気象条件、自分の技量を考慮してマテリアルを選択する。気分はカーレース「F1」のメカニカルスタッフである。

2h トライアルに挑戦

翌・日曜日は2時間トライアル大会。一斉スタート後、2時間の間に3kmの周回コースでどれだけの距離を滑るかを競う。遅い人から速い人まで滑るため、周回遅れ続出、結構コース上は混雑している。

あっという間か、やっと、というか2時間終わっていると25.9km。67歳のじいじにはもちろん追いつけないし、最後でじいじの弟子の幸くん(11歳)にもぶち抜かれてしまうという衝撃を経験した。

スキー0関係者は今回も多数上位入賞を果たした。まずは酒井佳子が2年連続で女子総合優勝。65歳以上男子で武石氏が優勝。幸くんが小学生男子3位。25-34女子で高橋美和が2位。35-44男子で宗形氏が2位。45-55男子で内山氏が3位。スキー0はやはりタフなスポーツなのだ。

(木村佳司)

スキー0成績

経験者クラス優勝	宗形竜憲	0:32:11
小学生クラス優勝	渡辺琢磨	0:12:00
初心者クラス優勝	四俣徹	0:16:04
チャレンジクラス優勝	遠山敏幸	0:19:27